

取扱説明書

うすまき全自動播種機

THS-3217K



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使いかたをすると、事故を引き起こすおそれがあります。お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

うすまき全自動播種機THS-3217Kを お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書はうすまき全自動播種機THS-3217Kの取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合、速やかに当社にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・JAにご相談ください。
-  印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

目 次

1. 安全に作業をするために	3 ~ 6
2. 安全銘板の貼り付け位置	7
3. 本製品の使用目的について	7
4. 各部の名称	8
5. 仕 様	8
6. 組立要領	9 ~ 13
7. 運転及び操作	14 ~ 23
8. 散播作業の仕方	24
9. 点検・整備及び保管上の注意	24
10. 故障の診断と処置	26 ~ 27
11. パーツリスト	29 ~ 49

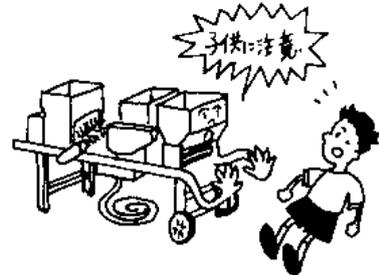
1. 安全に作業をするために

ここに記載されている注意項目を守らないと、
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

▲ 警告 子供を近づけない

子供には充分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】
傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲ 警告 電気部品・コードを必ず点検

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや
接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

【守らないと】
ショートして、火災事故をおこすおそれがあります。



▲ 警告 2人以上で作業するときは、 お互いに合図しながら機械を始動する

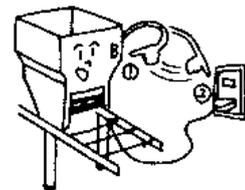
【守らないと】
思わぬ事故になることがあります。



▲ 警告 点検・整備時には必ず電源スイッチを 「OFF」にし、差込みプラグを抜く

点検・整備は、必ず電源スイッチを「OFF」にし、
差込みプラグを抜いてから行ってください。

【守らないと】
思わぬ事故をおこします。



▲ 注意

使用前に取扱説明書を必ず読む

使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。

【守らないと】

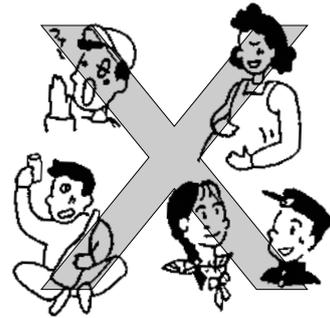
傷害事故や機械の破損をひきおこします。



▲ 注意

こんなときは作業しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 18才未満の人。



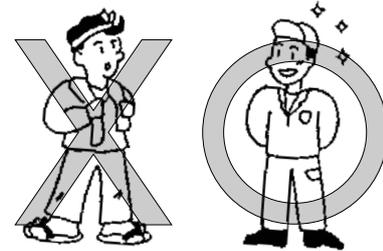
▲ 注意

作業に適した服装をする

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。
作業に適した、だぶつきの無い服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたりするおそれがあります。



▲ 注意

点検・整備をおこなう

機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。

【守らないと】

事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



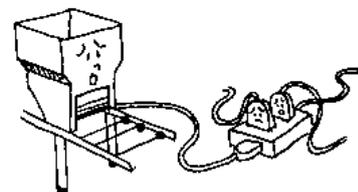
▲ 注意

電源は单相100V専用コンセントに接続する

また、タコ足配線はおやめください。

【守らないと】

火災事故の原因となります。



▲ 注意

作業中、停電した場合は、必ず電源スイッチを切る

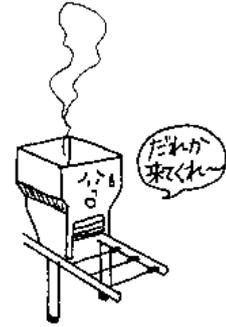
【守らないと】
通電時、急にまわりだし、思わぬ傷害事故を起こします。



▲ 注意

作業を中断・終了した場合は、必ず電源スイッチを切る

【守らないと】
ショートして、火災の原因になることがあります。



▲ 注意

カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで取り外したカバー類は、必ず取り付けてください。

【守らないと】
機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

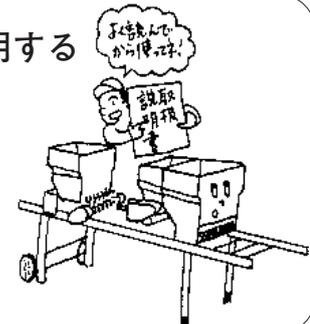


▲ 注意

機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】
傷害事故や、機械の破損をまねくおそれがあります。

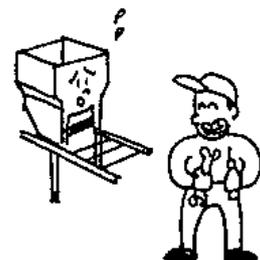


▲ 注意

機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けないでください。
改造をしないでください。

【守らないと】
事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。



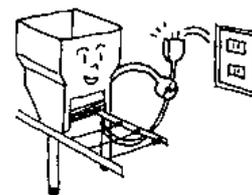
▲ 注意

後始末を忘れずにする

長時間使用しないときは、差込みプラグをコンセントから抜いてください。

【守らないと】

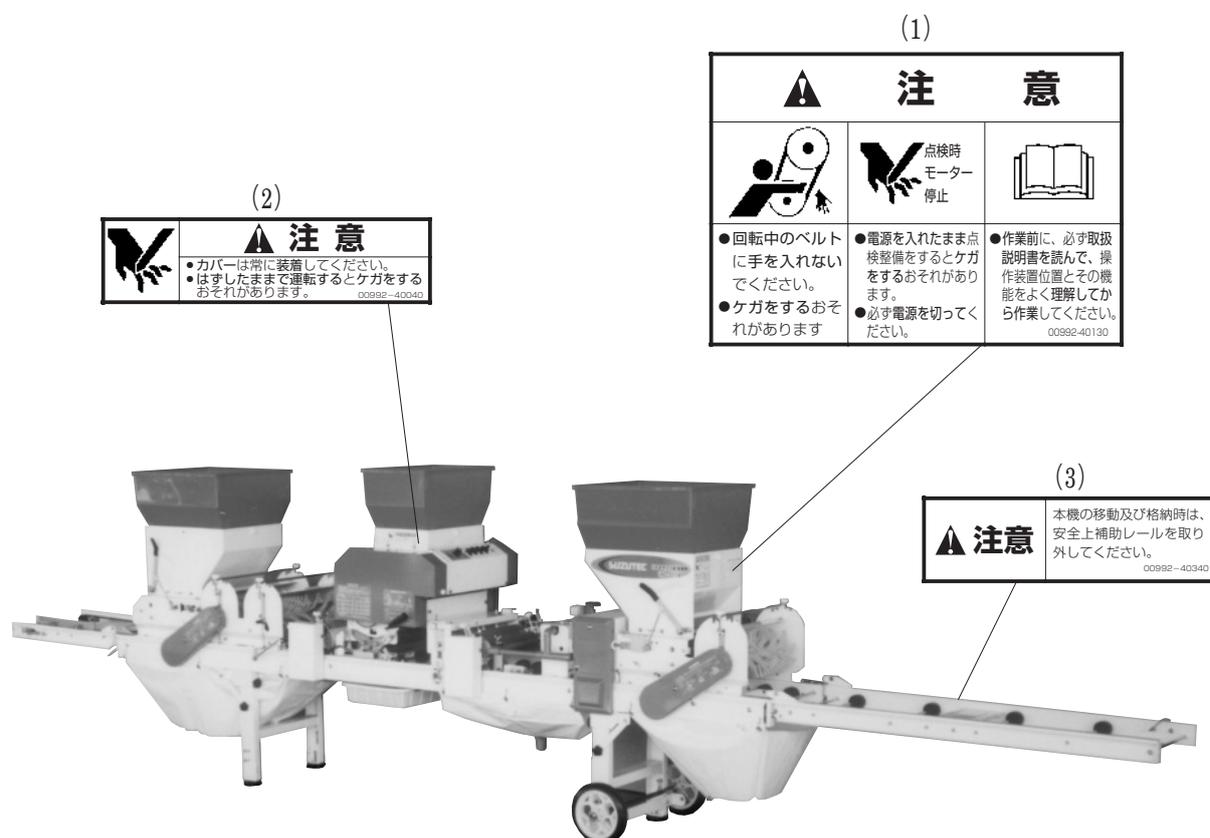
火災事故や感電事故のおそれがあります。



2. 安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の貼り付け位置を示したものです。

安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。



紛失または破損された場合には、当社に下記の表を参考にご注文ください。

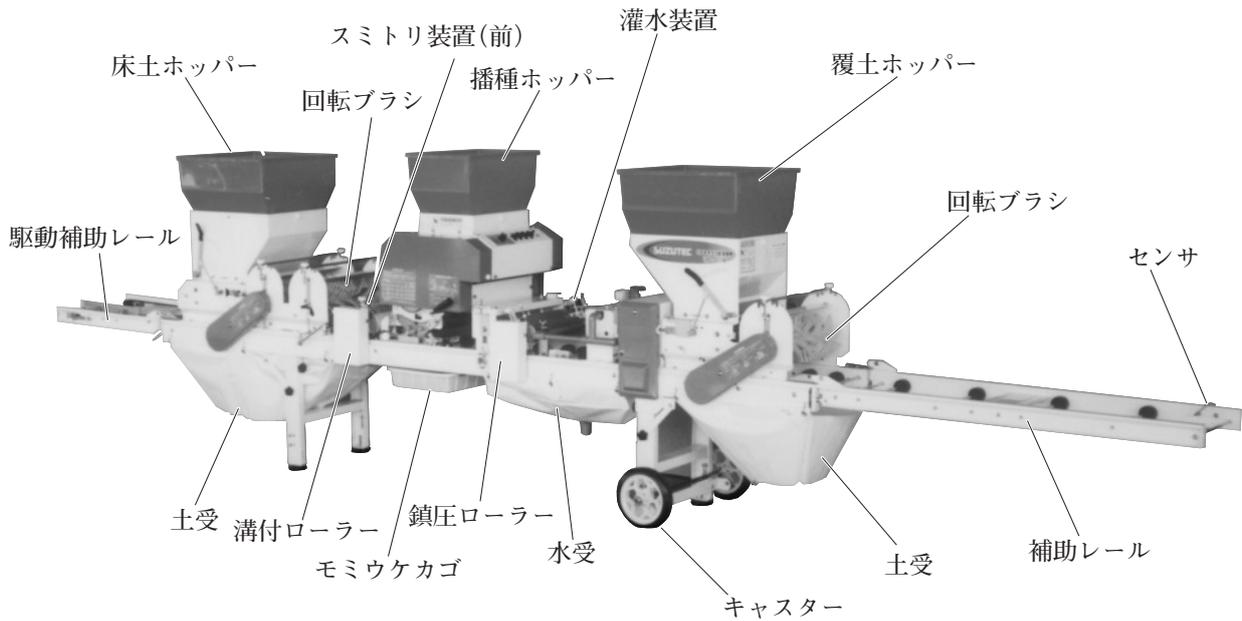
No	部品番号	部品名称
(1)	00992-40130	注意ラベル CL-10
(2)	00992-40040	注意ラベル CL-3
(3)	00992-40340	注意ラベル CL-20

3. 本製品の使用目的について

本製品は、育苗箱への土入れ・播種・覆土の作業機としてご使用ください。

使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。

4. 各部の名称



5. 仕様

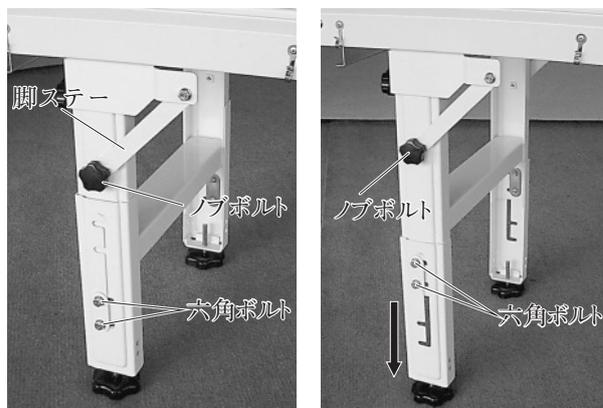
型	式	THS-3217K							
条	数	20条 (18条はオプション)							
全	長	4,310mm (格納時 2,795mm)							
全	幅	595mm							
全	高	1,100mm, 1,200mm							
重	量	120kg							
動	力	搬	送	40W/100V (1/36)					
		播	種	40W/100V (可変速)					
ホッパー容量	容量	床	土	47ℓ (補助ホッパー付)					
		播	種	27ℓ (補助ホッパー付)					
		覆	土	47ℓ (補助ホッパー付)					
灌	水	量	0.5ℓ~1.3ℓ/箱						
播	種	量	の	調	節	可変速モーターにより播種ローラーの回転数を可変する。			
播	種	量	(催	芽	粉)	50Hz	65g~257g (100ml~390ml)	
							60Hz	(60Hzは搬送スプロケット交換)	
土	均	し	方	法	ダブル回転ブラシ、スミ取り (前)				
土	入	れ	量	2.9~4.0ℓ/箱 (18mm~25mm厚)					
覆	土	量	0.5~1.5ℓ/箱 (3mm~9mm厚)						
能	力	300箱/時 (50Hz, 60Hz)							

★本製品は、50Hz地区に組付てあります。60Hz地区で御使用の場合はスプロケット16丁を19丁に交換してください。

6. 組立要領

6. 1 脚の組立

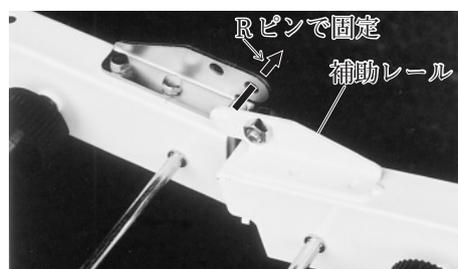
- (1) 本機に折りたたまれている脚を立てて、ノブボルト (M6×10) にて、しっかりと固定してください。
- (2) 脚の高さを2段階に伸ばすことができます。六角ボルトをゆるめて写真のように伸ばしてください。



6. 2 補助レールの組立

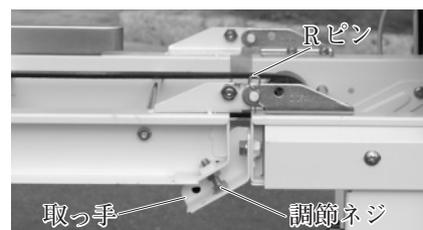
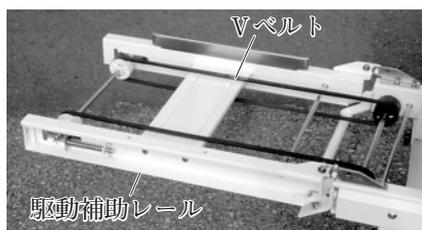
補助レールを連結し、Rピンで抜けないように固定してください。

なお、本機を移動する時は、安全上補助レールを外してください。



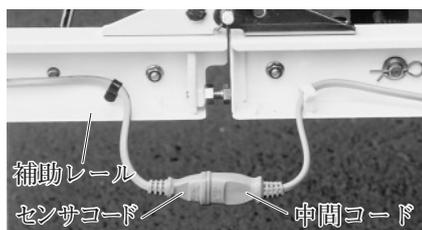
6. 3 駆動補助レールの組立

- (1) 取手が付いている方に駆動補助レールを組付けます。Vベルトをプーリーに掛けて組付けてください。
- (2) 調節ネジで駆動補助レールの水平を調節してください。



6. 4 センサコードの接続

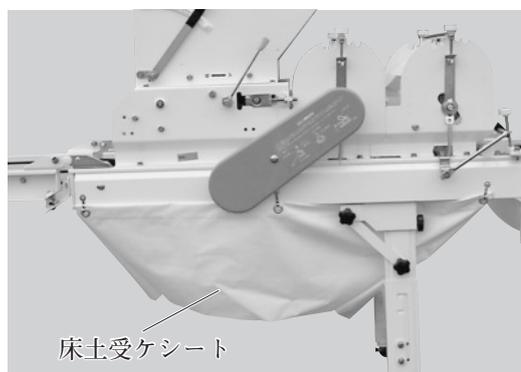
補助レール先端にあるセンサから出ているコードプラグを、駆動部より出ている、中間コードと接続してください。



6. 5 土受けシートの組立（床土、覆土）

土受けシートに付いている、穴をフックに引掛けてください。

（土受けシートに矢印がついておりますので苗箱の進行方向に合わせてください。）

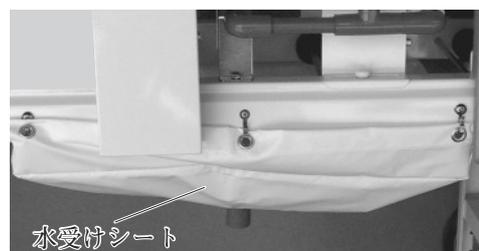


6. 6 水受けシートの組立

水受けシートに付いている穴をフックにひっかけてください。

又、排水ホースを取り付けてください。

（水受けシートに矢印がついておりますので）
（苗箱の進行方向に合わせてください。）



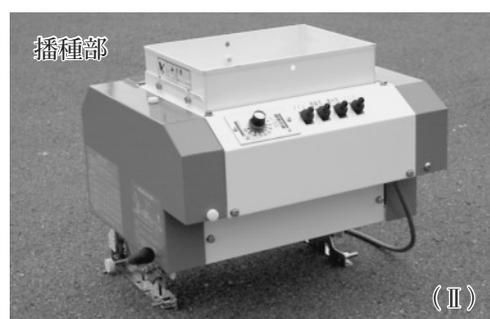
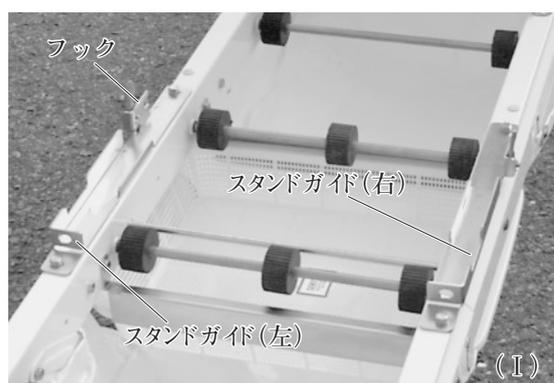
6. 7 モミウケカゴの組立

播種ホッパーの下側にモミウケカゴをサイドから差し込んでください。



6. 8 播種ホッパーの組立

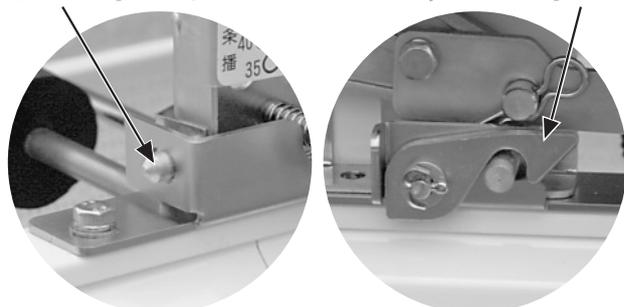
(イ) 写真①のスタンド完結（右）（左）の上に、写真②の播種部を乗せてください。



(ロ) 写真③の様にセット後、矢印の方向に播種部を押して写真④の様にセットしてください。

この時、ピンが⑤の様に、フックが⑥のようになる様確実にセットしてください。

ピンが入っている フックがかかっている

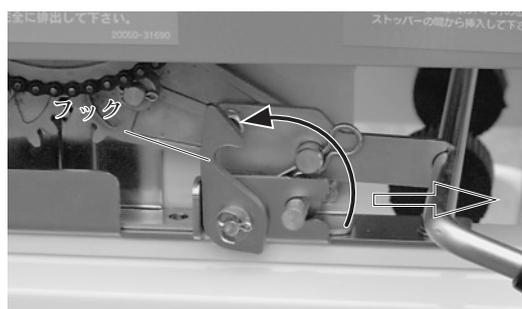
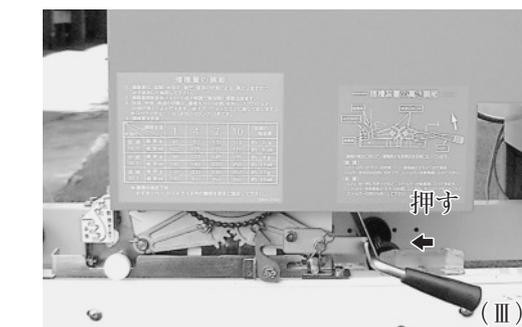


⑤

⑥

以上で播種部のセットは完了です。

(ハ) 播種部を外す場合は、右写真の様にフックを解除し、セット時と反対方向→に引っ張ってからレール部から取り外してください。



6. 9 モミウケの組立

モミウケを写真の様にセットしてください。



6. 10 粉落ブラシの組立

- (1) 播種部後方のあいている場所に、進行方向左側にモーターを配置し、播種レールに対し直角になる様位置決めしてください。
- (2) 位置決めしたら、両サイドに付いているクランプをレールに引掛けて固定してください。



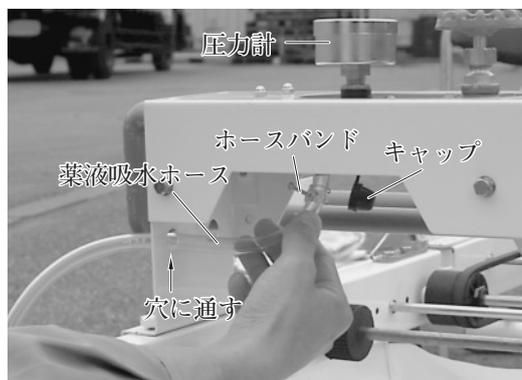
6. 11 給水ホースの接続

- (1) 減圧弁から出ている左側ホースノズルに水道からのビニールホースを接続してください。
- (2) オーバーフローした水は、右側のホースノズルより出てきますのでビニールホースを接続し水受けの中へ入れてください。



6. 12 薬液灌水を行う時

- (1) ホースノズルにかぶっているキャップを外してください。
- (2) ホースノズルに透明ビニールホース (φ 9) を取り付けてください。
(注意) 薬液灌水を行わない時は、必ずキャップをしてください。



6. 13 トウメイフタ

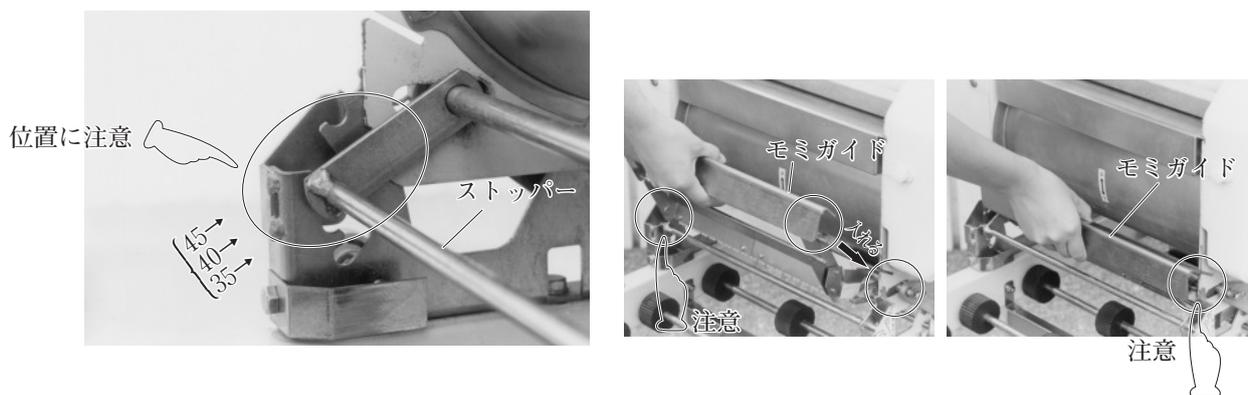
トウメイフタは、覆土ホッパーの土が播種ホッパーに入らない様にするための物です。

写真のようにトウメイフタをしてください。

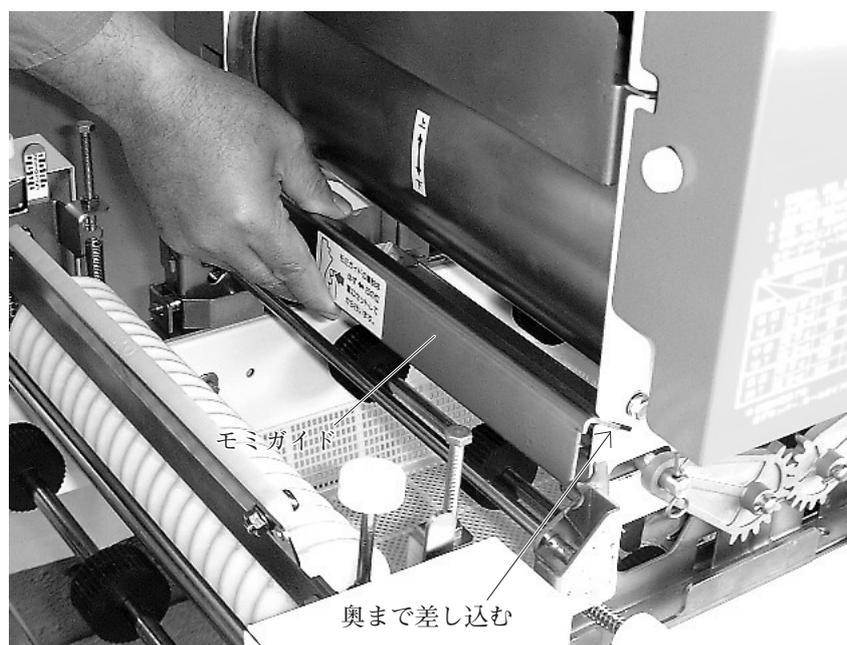


6. 14 モミガイドのセット

- (1) 「7. 9 播種ホッパーの高さ調節」を参照し、播種ホッパーを写真の様に一番高い位置にセットしてください。(条播溝の45の所に、ストッパーをセットします。)
 - (2) モミガイドを、シャフトとストッパーの間から挿入し、サイドフレームの溝部にセットしてください。
- (注意) モミガイドの着脱は、播種ホッパーの高さを必ずこの位置にセットしてから行ってください。



下の写真を参考にモミガイドを組み付けてください。

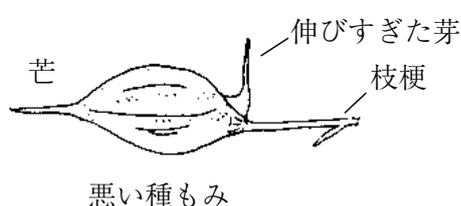
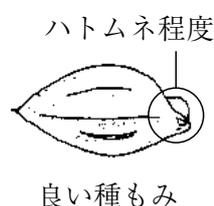


7. 運転及び操作

7. 1 運転前の準備

(1) 種もみの処理

- 種もみは、ゴミや、芒、^{ボウ}枝梗を取り除き、育苗方法に従って、塩水選、消毒、浸種、芽出し、を行ってください。尚、芒、枝梗は、播種ムラの原因になりますので特に注意して取り除いてください。
- 種もみは「はとむね」位に芽出しをし、芽が伸びすぎないように注意してください。又、手につかない程度に陰干しをして、種もみの水分を十分切ってから播種してください。種もみの水切りが完全でなかったり芽が伸びすぎていると「播種ムラ」の原因になりますので特に注意してください。



(2) 土の処理

- 床土に使用する土は5mm目のフルイを通した物を使用し、床土の水分は、片手でかるく握って開いた時にかたまり、指でさわるとすぐ崩れる程度の物です。
- 水分の多い土は、ブリッジ（土がホッパーから出てこない事）の原因となりますので特に注意してください。
- 覆土に使用する土は、よく乾燥し、4mm目のフルイを通した物を使用してください。

(3) 本機の設置

平らな場所を選び、全体が水平になるよう、スタンドの高さ調節ボルトにて、高さを調節してください。

(注意)設置が悪いと箱の片寄り、播種ムラ、灌水ムラ等の原因になる場合もありますので、特に注意してください。

(4) 育苗箱

- 育苗箱はできるだけ同じ種類の物で、「ソリ」「ネジレ」のない箱を使用してください。
- 育苗箱の種類が同じ物でない場合は、箱の高さを基準に寄り分けておいてください。(箱の高さが異ると本機の再調整が必要です)

7. 2 運転

各スイッチの操作

- (1) 播種ホッパーから出ているコントロールケーブルを駆動部のコネクタに差し込んでください。
- (2) 籾落ブラシから出ているコードプラグを駆動部コンセントの「籾落ブラシ」に差し込んでください。
- (3) 駆動部モーターベースから出ているコードプラグを単相100Vの電源に差し込んでください。

以上で準備は終了です。

それでは、各スイッチの操作をしてみましょう。

- (4) 「メインスイッチ」を「ON」にしてください。搬送ローラー籾落ブラシが回ります。
- (5) 「灌水部」のスイッチを「ON」にしてください。電磁弁が作動し水が流れます。
- (6) 「播種部」のスイッチを「ON」にしてください。播種ローラーが回ります。
- (7) 「メインスイッチ」を「OFF」にすると、全てが止まります。
- (8) ミニコンをセットして使用する場合は、ミニコンから出ているコードプラグを駆動部コンセントの「ミニコン」に差し込んでください。

「メインスイッチ」を「ON」にし、「ミニコン」のスイッチを「ON」にするとミニコンが動きます。その時ミニコン本体のスイッチは「ON」にしてください。「OFF」では動きません。

- (9) 箱供給機は本機に接続しないで直接ACコンセントに接続してください。



7. 3 回転ブラシの調節



警告

- ・電源を「OFF」にし差し込みプラグを抜いて行ってください。
回転部に巻き込まれるなど傷害事故をひきおこすおそれがあります。

※回転ブラシがダブルで標準装備となっております。調節方法は両方とも同様です。

回転ブラシの調節は、育苗箱の種類により箱の高さが異なりますので御使用する箱に合わせてください。

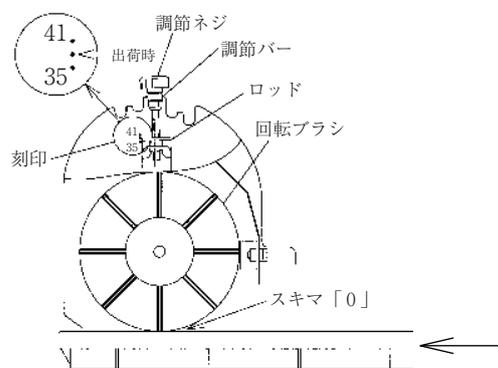
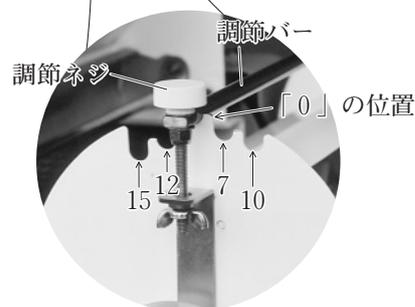
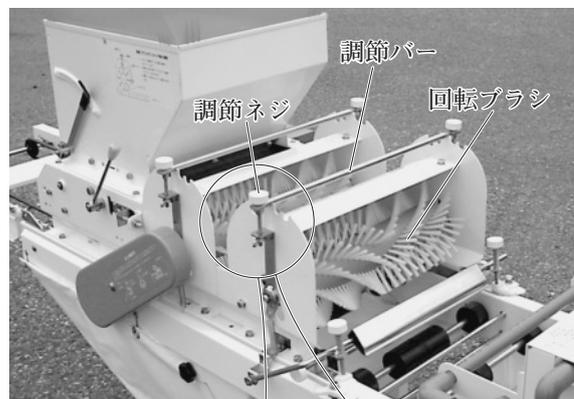
(1) 調節バーが回転ブラシスタンドの「0」の位置にある事を確認してください。

(2) 育苗箱の上面と回転ブラシのスキマを「0」になる様調節ネジで調節してください。

側板の刻印 (35, 41) の三つの点は育苗箱の高さを表わしています。三つの間隔は3mmです。刻印を目安にロッド上面を合わせてください。なお、出荷時は中央の点(育苗高さ38mm)に合わせてあります。

(3) 調節バーを移動して望みのカキトリ量に合わせてください。

※条播の場合は、7mmにセットします。

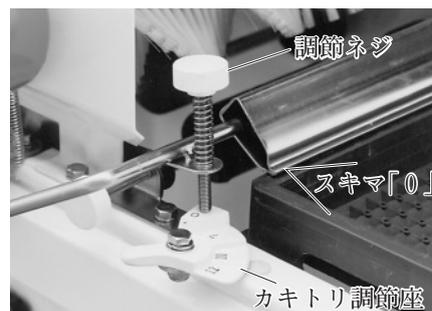


7. 4 スミ取り装置(前)の調節

このスミ取り装置(前)は、育苗箱の前側の隅を取る装置です。箱の種類により高さが異なりますので御使用する箱に合わせてください。

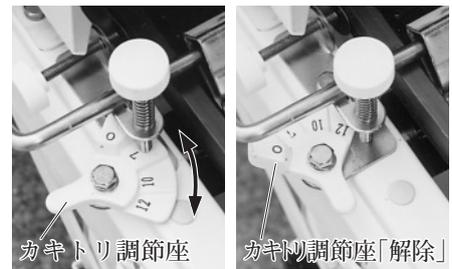
(1) 高さ調節金具の一番高い所にスミ押し金具の調節ネジが乗っている事を確認してください。

(2) 育苗箱の上面とスミ押し金具の先端のスキマが「0」になる様、調節ネジで調節してください。



- (3) 高さ調節金具を回すと「7ミリ」「10ミリ」「12ミリ」かき取りにセットされます。
また、カキトリ調節座を解除すると「15ミリ」かき取りになります。

※条播の場合は、7mmにセットします。



- (4) 箱ガイドを調節ネジで育苗箱に合わせ、スミ押し金具が箱の中に入る様調節してください。



7. 5 溝付ローラーの調節

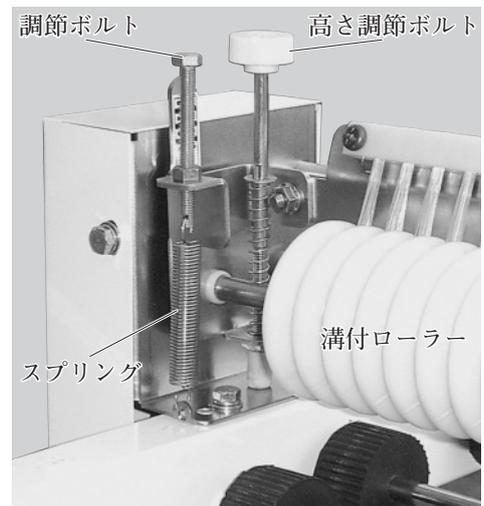
溝付ローラーの高さは、工場出荷時に高さ「38ミリ」の苗箱に合わせてあります。溝の状態により調整してください。

- (1) 溝が不完全なとき

溝付ローラーを下げてください。また、溝付け中に高さ調節ボルトが浮く場合は、スプリングを張って加圧してください。

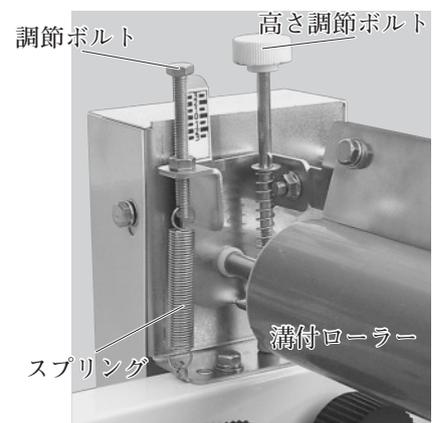
- (2) 床土が後方へ寄る場合

溝付ローラーのすぐ後ろの床土が盛り上がり、後方へ土が寄ってしまう場合は、スプリングの張りを弱くし溝付ローラーの高さを上げてください。



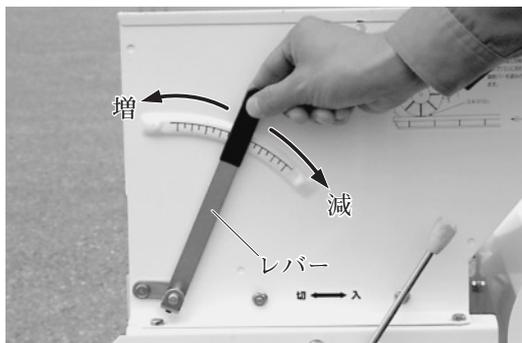
7. 6 鎮圧ローラーの調節

- (1) 鎮圧ローラーは条播種後、種もみの移動を押えるためにする物です。一般に鎮圧ローラーの自重だけで充分です。スプリングはあまり張らないでください。
- (2) 鎮圧ローラーの高さは、溝の山が半分くらい崩れる程度が最適です。



7. 7 床土・覆土量の調節

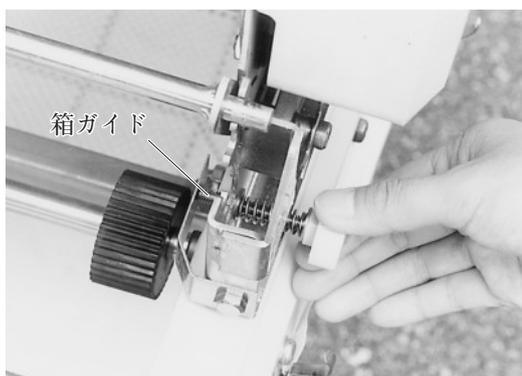
- (1) 床土・覆土量の調節はホッパーの側面にあるレバーで調節してください。
- (2) 覆土は、粘質な土をさけ乾いた土を使って種もみがかくれる程度に行います。



7. 8 箱ガイドの調節

播種ホッパーに付いている箱ガイドは、調節ネジにて育苗箱が中心に来る様調節してください。

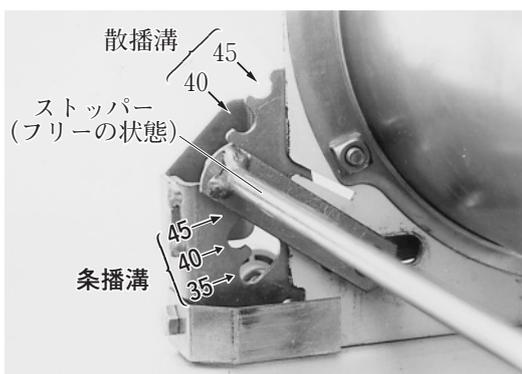
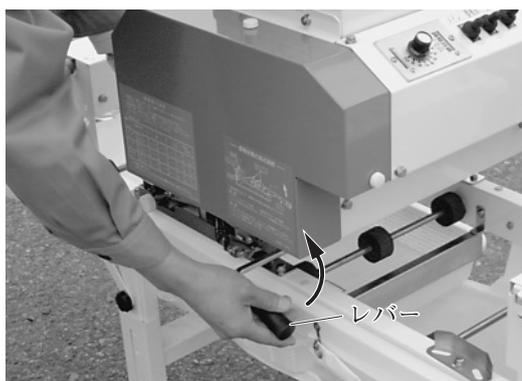
- (注意) 育苗箱が引っ掛からない様、余裕(3~5ミリ)をもって調節してください。



7. 9 播種ホッパーの高さ調節

育苗箱の高さに応じてホッパーの高さを35、40、45の3段階に調節出来る様になっております。

- (1) レバーを矢印の方向に動かし、播種ホッパーが上下に動く事を確認してください。
 - (2) ストッパーがフリーの状態です35ミリの位置になっております。
 - (イ) 条播溝の45の位置にセット後、モミガイドをを差し込んでください。
 - (ロ) モミガイドのセット後、箱の高さに合わせ条播溝の45、40、35にします。
- ☆散播作業の場合は、モミガイドを外してから箱の高さに合った散播溝を使用します。



7. 10 播種量の調節



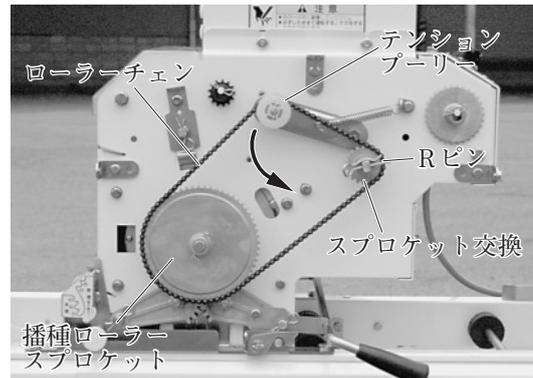
注意

- ・取り外した回転部カバー類は、必ず取り付けてください。
衣服が巻き込まれたりして傷害事故を引き起こすおそれがあります。

- (1) 播種量調整目盛りは1～10迄の範囲で無段階に調節できます。
- (2) 「低速」「中速」「高速」の切換えは、ハシユカバー（右側）を外しスプロケットの掛け替えにより行います。（テンションプーリーをつまんでテンションを解除してから交換してください。）



	掛け替え スプロケット	ハシユローラー スプロケット	ローラー チェン
低速	13T	60T	110リンク
中速	19T		
高速	30T		

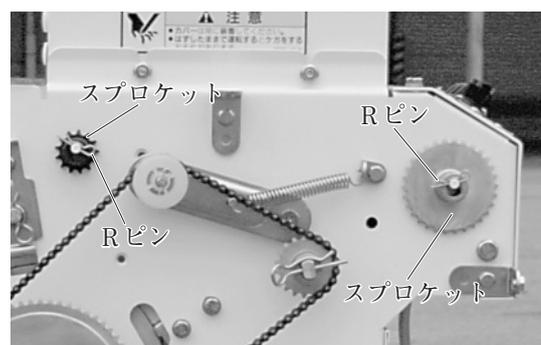


- (3) 播種量の目安を下表に示しますが種もみの品種、催芽、水切りの状態により異なりますので実測してから御使用ください。

変速比	調整目盛り	1	4	7	10	1目盛りの 増減量
	低速 13T	催芽 g	65	82	100	112
催芽 ml		100	125	150	170	約 8 ml
中速 19T	催芽 g	95	120	145	165	約 8 g
	催芽 ml	145	180	220	250	約 12 ml
高速 30T	催芽 g	150	200	230	257	約 12 g
	催芽 ml	230	300	350	390	約 18 ml

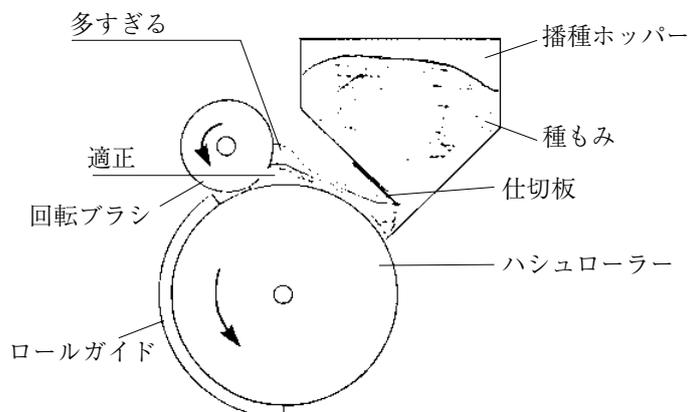
(参考) 1合 = 180ml ≒ 120g (催芽)

- (4) 播種量を決定し、スプロケット、チェンを掛けましたら、余ったスプロケットは写真の様に収納して、紛失しない様にしてください。



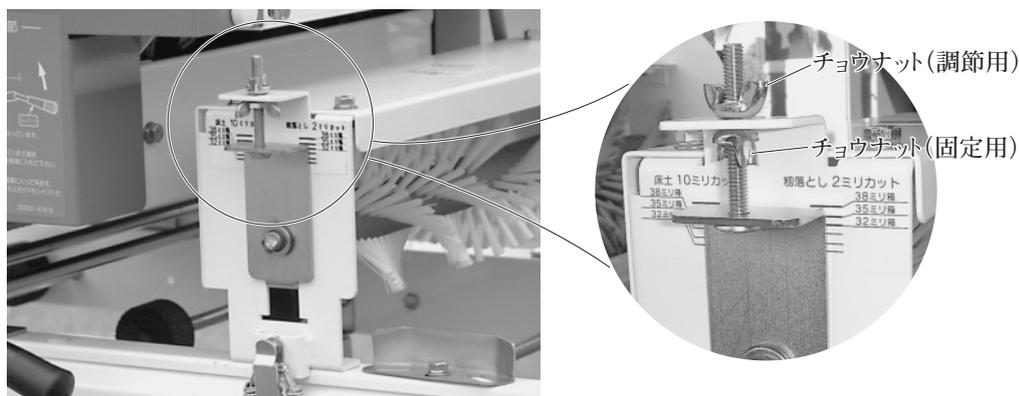
7. 11 播種作業

下図のように種もみになるように仕切板にて調節してください。



7. 12 粉落ブラシの調節

- (1) 調節目盛を目安に育苗箱の上面より2ミリ程度下がる様に調節してください。上側のチョウナットを右に回すと上昇し、左に回すと下降します。
- (2) 調節が終わりましたら下側のチョウナットで固定してください。



7. 13 灌水量の調節

床土が必要とする灌水量は、床土の種類や乾燥状態により異なります。灌水量の調節が充分なされず、湿害や灌水不足を起こし出芽、生育に支障をきたすことのないよう特に次のことを注意してください。

- (1) 灌水量の決め方

① 床土の水分状態

乾燥している土は多く灌水し、湿った土は少なく灌水します。必要以上に灌水すると湿害を生じたり、逆に灌水不足だと種もみの根上がり現象がおこります。

② 箱の種類

木箱の場合は、箱自体が水分を吸収するので灌水量をやや多目にします。又、プラスチック箱は、水分が逃げにくいのでやや少な目に灌水します。

(2) 真水灌水する場合

- ① 水道の**コックを全開**にして、下表を参照しながら、使用する水圧に灌水装置側のバルブで調節してください。

圧力計目盛 M P a	0.015	0.02	0.03	0.04	0.06	0.08	0.1	0.12
真水灌水量 ml / 箱	(470)	490	605	705	860	1000	1120	1210

- ② 育苗箱を1箱通し、床土入れ、均平、灌水して3分位たって**水分がやや落ち着いてから水の浸透状態を確認**してください。

7. 14 薬液灌水の仕方

この灌水装置は、「リゾーブス菌」による**苗立枯病の発生防止に使用する**もので灌水と同時に薬剤散布ができるようになっています。

(1) 灌水量及び薬剤吸込量

圧力計目盛 M P a	0.02	0.03	0.04	*0.06	0.08	0.1	0.12	
薬剤灌水量 ml / 箱	530	660	760	940	1090	1230	1340	
薬剤吸い込み量 ml / 箱	78	92	110	*140	165	190	215	
薬剤散布率 倍	500倍	128	109	91	71	61	53	47
	800倍	80	68	57	*45	38	33	29
	1000倍	64	54	45	36	30	26	23
水10ℓ当りの薬剤量 (g) を示す								

(2) 消毒液の作り方 (ダコニール、ダコレート)

☆**薬液消毒の防除基準は、一般に500~1000倍液を1箱当り500ml散布 (1~0.5g) となっています。**

(各地域の育苗指針、農業改良普及員の指導、薬剤の説明書などに従ってください。)

(例) 1箱当りの適正灌水量が940mlで、800倍のダコニール消毒液を散布する場合

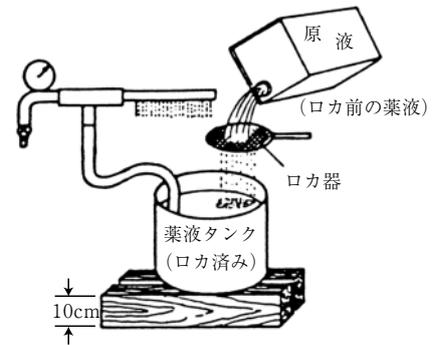
- ① バルブで水圧を0.06MPaにセットします。
- ② 1箱当りの薬剤吸い込み量は約140mlです。800倍で散布する場合、表を参照(※印部)して水10ℓ当り薬剤45g (a)の割合で調合してください。
- ③ 消毒液の必要量は、育苗箱枚数×薬剤吸込量です。100箱育苗する場合100箱×140ml = 14000ml = 14ℓ (b)

14ℓ消毒液が必要になります。

$$\text{必要薬剂量} = \frac{\text{(b)必要消毒液量 (ℓ)}}{10ℓ} \times \text{(a) 10ℓ当りの薬剂量 (g)}$$

$$\frac{14ℓ}{10ℓ} \times 45g = 63g \text{ の薬剂が必要になります。}$$

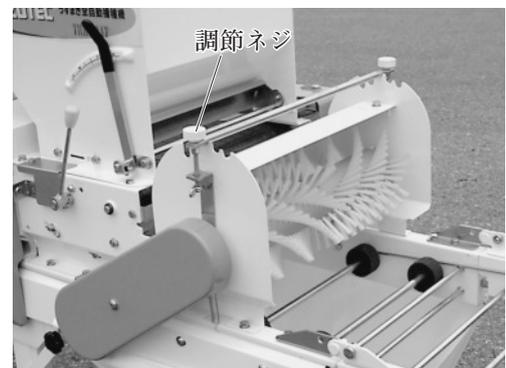
- (注意)① ダコニール、ダコレートとタチガレンの同時使用、近接処理は薬害を生じるおそれがありますのでさせていただきます。
- ② 薬液タンクは地上より10cm位上げてください。
- ③ 薬剂が沈んでしまわないようときどき攪拌してください。
- ④ 吸込用ビニールホースの先端に付いているフィルターが詰まると薬剂吸込量が減少します。ときどき確認し詰まっていたら掃除してください。
- ⑤ 水和剤を使用する時は、原液をロカ器に通しますと、目詰まりが無く正確な散布が出来ます。



7. 15 土落とし回転ブラシの調節

覆土後の苗箱縁にのった土を回転ブラシにて取除きます。

回転ブラシの先端が苗箱上面より1～2ミリ下げた所で使用してください。



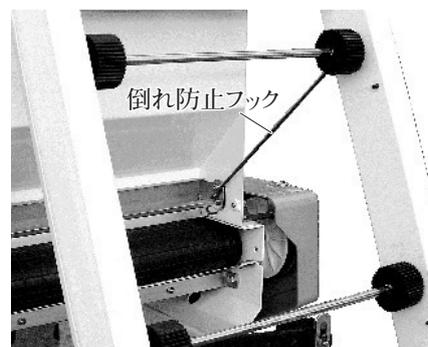
7. 16 キャスターの使い方

- (1) キャスターは播種機を移動する時に使用します。播種作業の時は必ず解除してください。
- (2) キャスター側のレール部を持って本機を持ち上げます。キャスターを回転させて写真のようにセットしてください。セットした後、レールの一端を持って移動してください。



7. 17 倒れ防止フックの取り付け方

- (1) 覆土部の補助レールを折りたたんだ時に、倒れないようにする物です。
- (2) 覆土ホッパーをセットしたまま補助レールを折りたたんでください。
- (3) 写真のように「倒れ防止フック」を、シャッター軸へ引っ掛けてください。

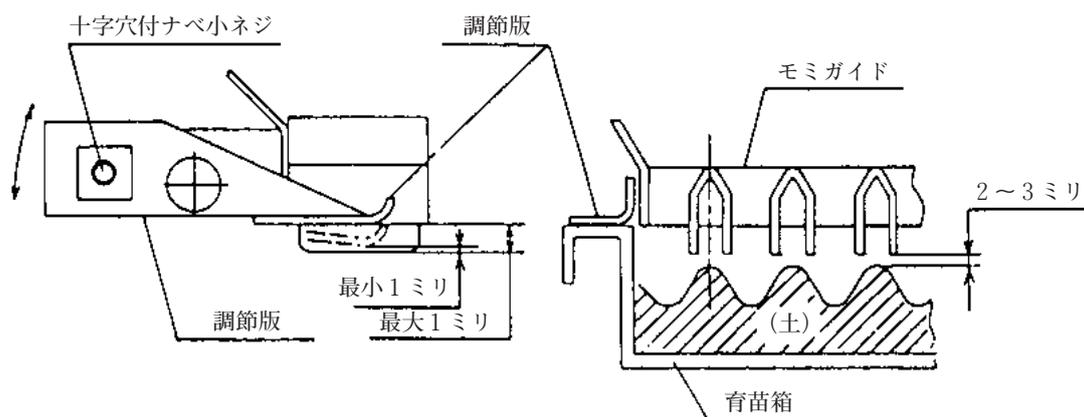


注意

本機の移動及び格納時は、安全上補助レールを取り外してください。

7. 18 モミガイドの調節

モミガイドは、箱上面より5ミリ下がった位置にセットしてあります。床土入れ量が多い時、又、育苗箱にソリが出て床土の山の部分をモミガイドで削ってしまう時は、モミガイド下面と、山のすきまを2～3ミリになるよう調節版のネジを緩め再度調節してください。



8. 散播作業の仕方

本機を散播としてご使用の場合は、次の要領で行ってください。

- (1) モミガイドを外してください

(注意) 播種ホッパーを条播溝「45」の所にセットしてから外してください。

- (2) 溝付ローラー鎮圧ローラーを、写真のようにフックで引掛けて解除してください。



9. 点検・整備及び保管上の注意

9. 1 手入れ

播種作業が終わって長時間使用しない場合は、次の点に注意してください。

- (1) 灌水装置

- ① 薬液灌水を行った時は、必ず真水を吸い込ませ内部を良く洗浄してください。
- ② 灌水ノズルは、ノズルブラシで清掃し、水を勢いよく出してパイプ内をきれいにしてからゴム栓をしてください。
- ③ 冬期凍結のおそれがないように水を完全に抜いてください。特に吸込ノズル内の水は抜きもれのないように注意してください。ホースノズル内のステンレス球を下から押し上げれば、吸込ノズル内の水は完全に抜けます。

- (2) 残量種粉

播種作業終了時は、ホッパー内種粉が全部無くなる迄播種ローラーを回し種子がロールガイド内に残らない様にしてください。(ロールガイドが破損する恐れがあります)。

- (3) 水洗い

- ① 水洗いをする場合は、電源プラグをコンセントから外し、モーター及びスイッチへの放水はしないよう注意してください。
- ② 播種部回転ブラシは、水洗いしないでください。
汚れ、変形により水洗いをしたときは、回転ブラシの毛をすいて、外周方向に毛を直立させた状態で水切りをして、そのまま乾燥させてください。

(毛が垂れ、変形の状態では使用できません。)

(4) 給油

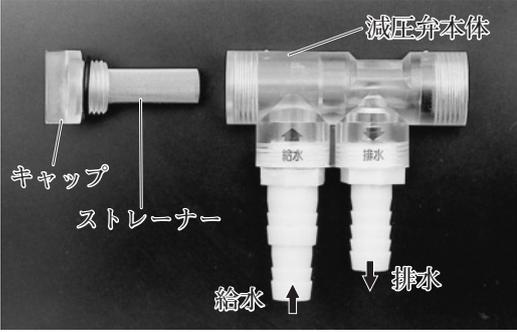
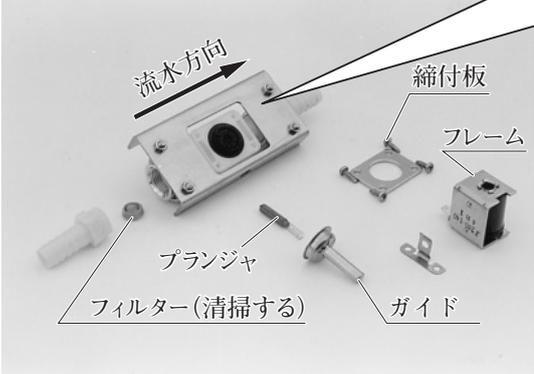
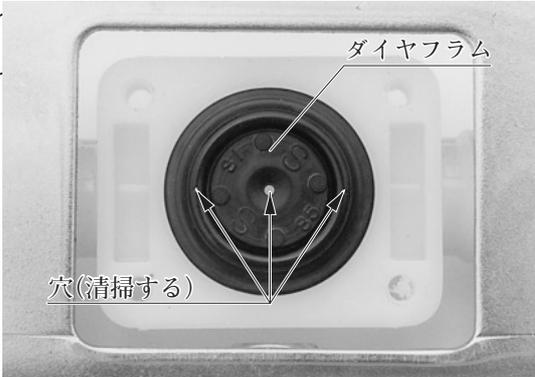
洗浄後、よく乾かし、**回転部**（搬送コンベアー軸受部、播種ホッパー軸受部、床土・覆土ホッパー軸受部）、**ローラーチェーン**（搬送コンベアー部、播種ホッパー部）などへ**必ず給油**してください。

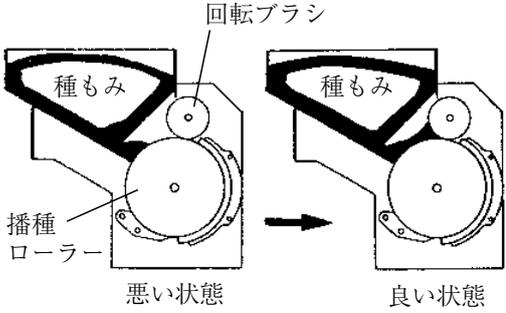
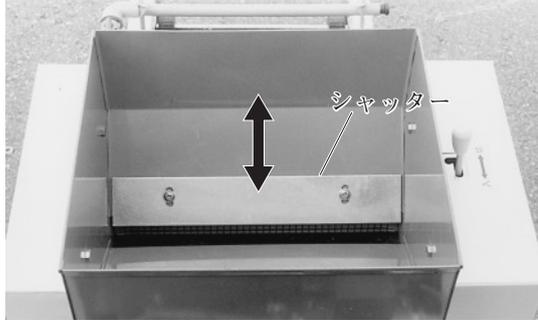
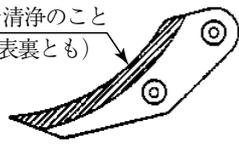
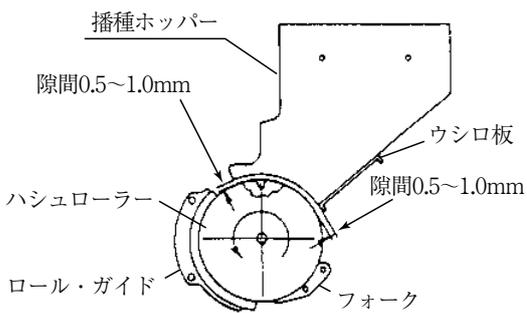
9. 2 保管上の注意

- (1) 床土・覆土部の**クラッチは「切」**の状態にしてください。
- (2) Vベルトは、緩めた状態にしてから保管してください。ベルトの伸びやくせを防止することができます。
- (3) 本機の格納は、ゴムローラーを使用していますので直射日光を避けてください。

10. 故障の診断と処置

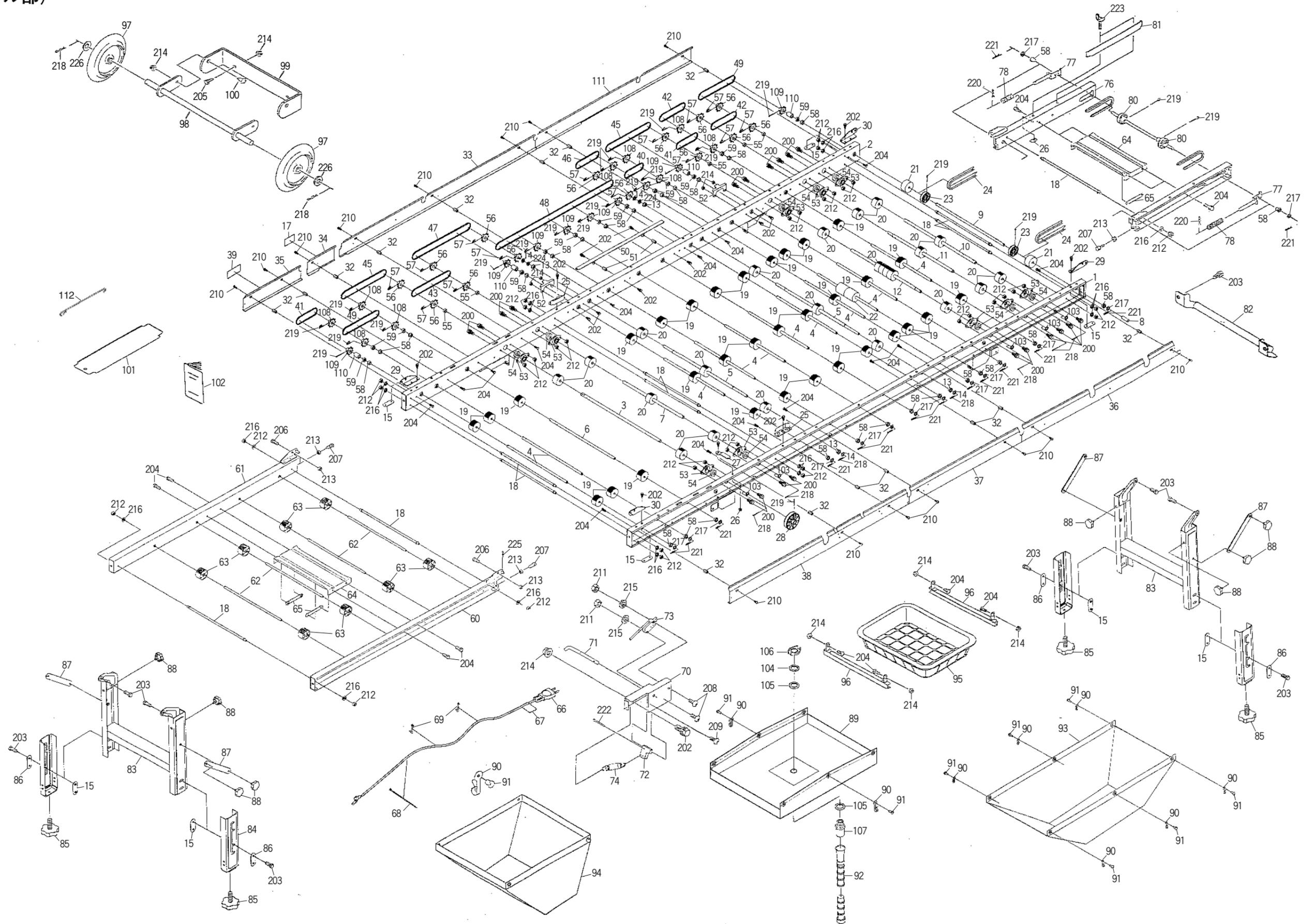
使用中、下表の様なトラブルが発生した場合は、表に基づいて適切な処置をしてください。

現象	原因	処置
モ動 か な い が	(1) 電源のコードの入れ忘れ。 (2) メインスイッチが「ON」になっていない。 (3) センサコードの接続が適切でない。	○ 家庭用AC100Vに接続する。 ○ スイッチを「ON」にする。 ○ 取説9頁6.4センサコードの接続参照。
水 の 出 が 悪 い ・ 水 が 出 な い	(1) メインスイッチとカンスイスイッチが「ON」になっていない。 (2) 水道の蛇口が開かれていないか、水道ホースが曲がっている。 (3) 灌水ノズルが詰まっている。 減圧弁内のストレーナーが目詰まり。 (4) ウォーターバルブが目詰まり。 ① フィルターの目詰まり。 ② ダイヤフラムの目詰まり。	○ メインスイッチを「ON」にしてから、カンスイスイッチを「ON」にする。 ○ 水道の蛇口を開き水道ホースの曲がりを直す。 ○ 同梱のノズルブラシで清掃する。 ○ キャップを外し、中にあるストレーナーを清掃する。  A. 減圧弁を外し、フィルター（金網）を引き出し、清掃する。 B. 「A」の処置をして、メイン、カンスイ、スイッチを「ON」にしたとき、ウォーターバルブは「ビー」と音がするのに水が出ない場合は、ウォーターバルブを分解してダイヤフラムの3つの穴（矢印部）を清掃する。  

現象	原因	処 置
ノ空 ズルが 入の中 に	○薬液吸込口のホースノズルにキャップがされていない。	○キャップをする、又割れている物は新品と交換する。
播 種 ム ラ に な る	<p>○回転ブラシの手前に種もみがない。</p>  <p>○種もみの処理が適切でない。</p> <p>○回転ブラシの平行がでない。</p>	<p>○ホッパー内のシャッターを開く。</p>  <p>○14頁7.1運転前の準備(1)種もみの処理を参照。</p> <p>○回転ブラシのシャフトを固定している軸受板を調整する。</p>
ハ シ ユ ロ ー ラ ー の 動 き が 悪 い (動 か ない)	<p>(1)ロールガイドとハシユローラーの間に残量種籾が有ってロールガイドに食込んでいる。</p> <p>(2)フォークとハシユローラーの溝の間に土又はゴミ等が付着して滑りが悪くなっている。</p> <p>(3)①播種ホッパー、ウシロ板とハシユローラーが接触している。 ②播種ホッパーとハシユローラーの隙間が約1.5mm以上あって種籾が挟み込まれる。</p>	<p>○ロールガイドを取外し両方とも清掃する。</p> <p>○ロールガイドが破損している場合は交換する。</p> <p>○フォークを取外し、フォーク部及びハシユローラーの溝部の付着物を取除く。(組付の際、フォークがハシユローラーに接触しないこと)</p> <p>溝に入っている部分を清掃のこと (表裏とも)</p>  <p>○播種ホッパーを取付けているボルトを緩めて隙間が約0.5~1.0mmになるように再調整する。</p> 

パ ー ツ リ ス ト

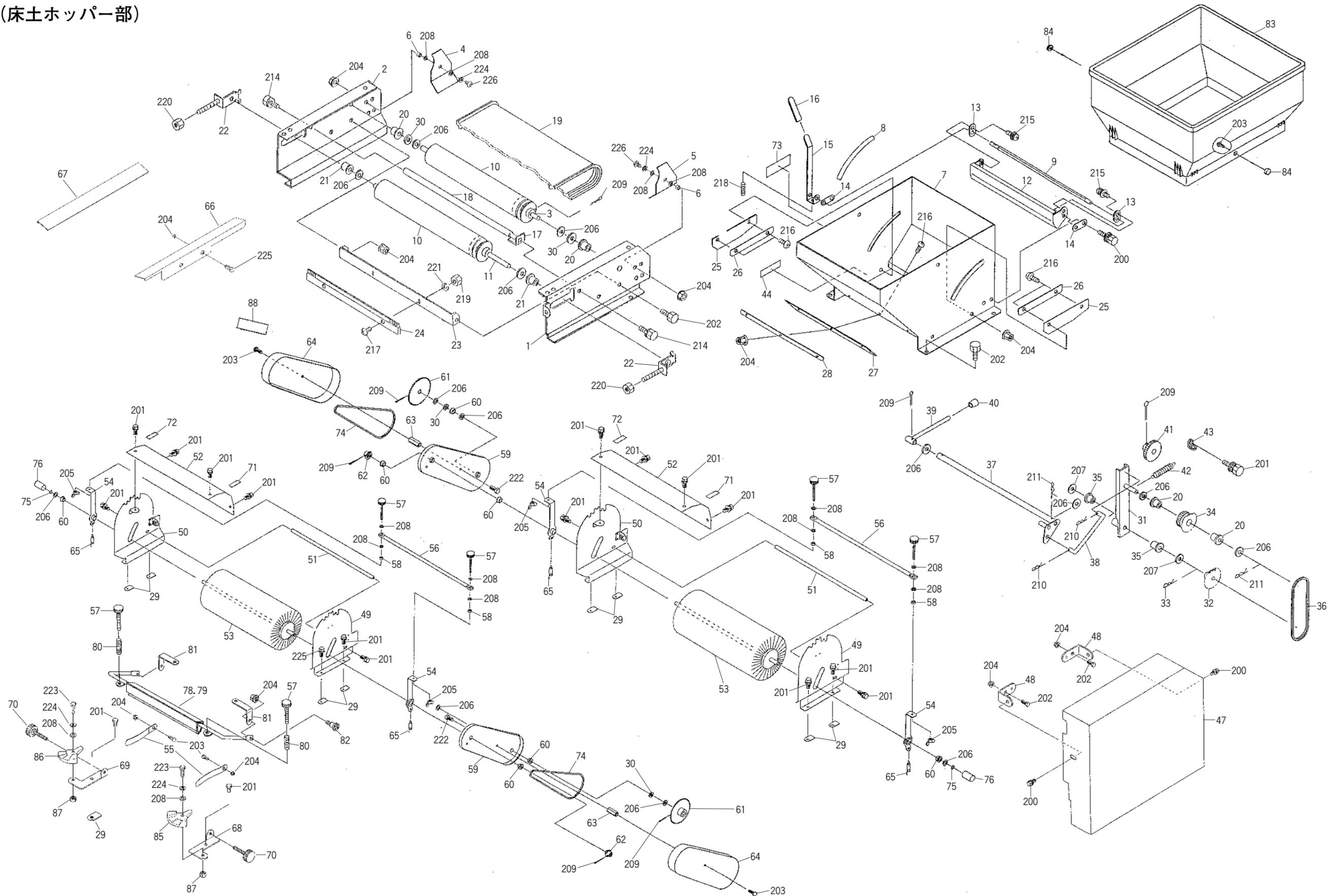
(レール部)



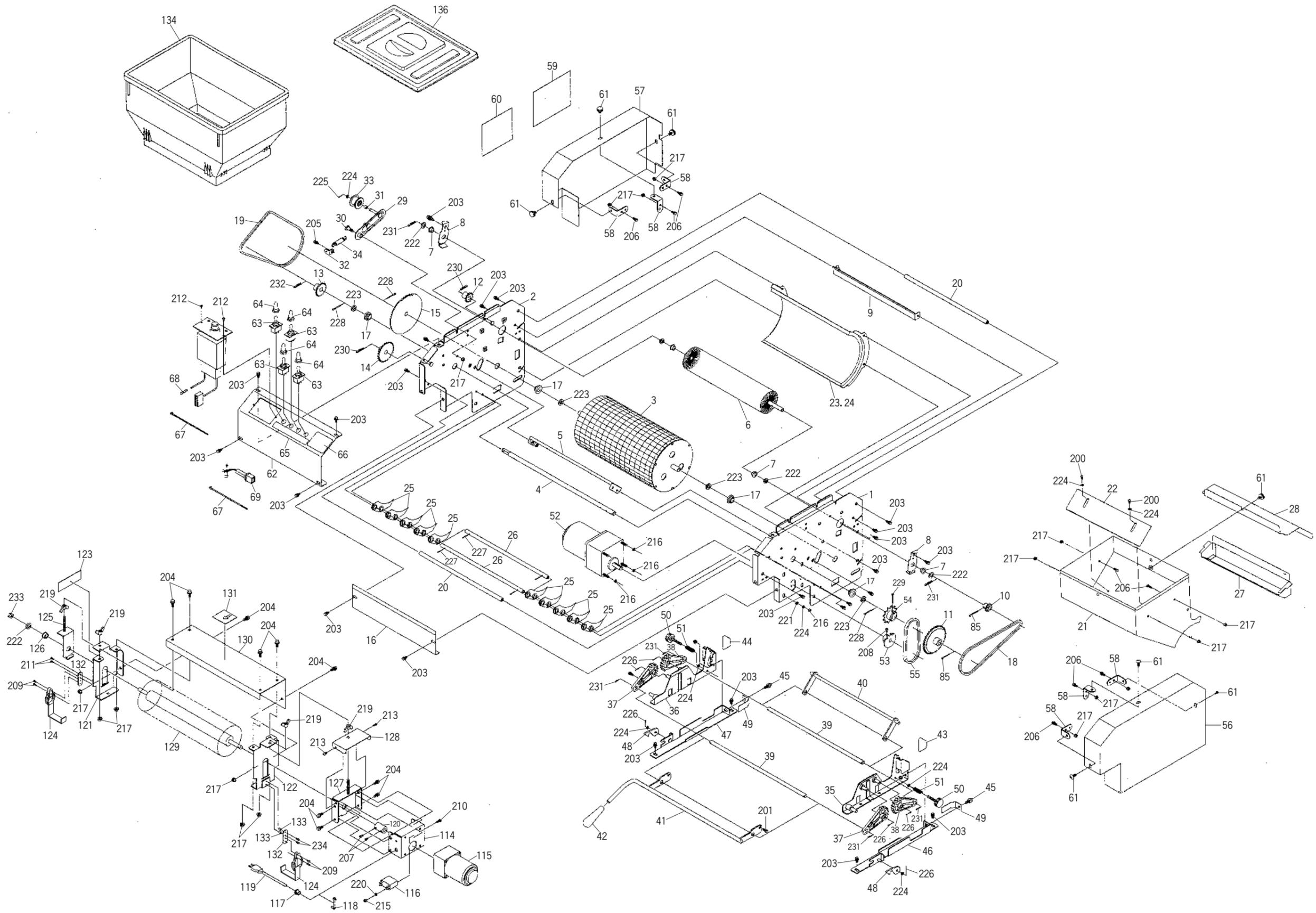
図No.	コード	名称	個数	備考
			THS-3217K	
1	20064-11050	レール完結 (L)	1	
2	20064-11060	レール完結 (R)	1	
3	20035-41200	主駆動シャフト	1	
4	20035-41220	シャフト (B)	11	φ10×361
5	20064-41011	シャフト (MT)	2	φ10×499
6	20048-42040	シャフト (回転ブラシ)	1	φ10×391
7	20059-41060	シャフト (C)	1	φ11.95×361
8	20035-41080	シャフトカバー	1	
9	20050-41870	連結シャフト (B)	1	φ10×406
10	20060-41070	ホッパー駆動シャフト	1	φ11.95×428
11	20045-41270	シャフト (回転ブラシ)	1	φ11.95×392.5
12	20060-41440	ブラシ駆動シャフト	1	φ11.95×419
13	20021-41117	オイルレス軸受 (B)	4	
14	20035-41090	スペーサー	4	
15	20050-41020	オビナット	4	
16	20000-41700	段付ネジ	4	L=5
17	20000-42900	スプロケット交換ラベル	1	
18	20000-42590	レールストッパーボルト	15	
19	20000-409	搬送ゴムローラー	32	軸10用
20	20208-41241	搬送ゴムローラー (B)	23	軸12用
21	20034-41010	ゴムローラー	2	外φ48
22	20048-42080	ゴムローラー (S)	2	L=50
23	20000-41130	φ46Vプーリー	2	
24	03510-00049	Vベルト	2	M-49
25	20030-41119	ガイド板	2	
26	20033-41020	マワリ止めナット	3	M6
27	20033-41360	ベルト押え板	1	
28	20000-31060	φ75Vプーリー	1	軸12用
29	20041-41162	折りタタミ金具 (A)	2	
30	20041-41172	折りタタミ金具 (B)	2	
31	20050-41020	オビナット	8	
32	20035-41170	支柱 (B)	15	L=37
33	20064-31110	レールカバー (R2)	1	L=1155
34	20064-31120	レールカバー (R3)	1	L=160
35	20064-31170	レールカバー (R4)	1	L=340
36	20064-31130	レールカバー (L1)	1	L=920
37	20064-31140	レールカバー (L2)	1	L=660
38	20064-31150	レールカバー (L3)	1	L=1060
39	20000-41350	注油マーク	1	
40	03003-41020	ローラーチェーン	1	#410.20L
41	03003-41022	ローラーチェーン	2	#410.22L
42	03003-41026	ローラーチェーン	2	#410.26L
43	03003-41038	ローラーチェーン	1	#410.38L
44	03003-41040	ローラーチェーン	1	#410.40L
45	03003-41044	ローラーチェーン	2	#410.44L
46	03003-41024	ローラーチェーン	1	#410.24L
47	03003-41056	ローラーチェーン	1	#410.56L
48	03003-41112	ローラーチェーン	1	#410.112L
49	03003-41036	ローラーチェーン	2	#410.36L
50	20064-31160	チェーンガイド (d)	1	

図No.	コード	名称	個数	備考
			THS-3217K	
51	20141-41670	ロールガイド高ナット	2	L=20
52	20062-41010	チェーンガイド (A)	2	
53	20000-42120	ベアリングケース (C)	10	
54	02202-06001	ボールベアリング	10	6001UU
55	20038-41240	カラー (A)	5	
56	20000-41150	スプロケット (8T)	14	穴φ12
57	20000-41500	Rピン	14	
58	20005-411	オイルレスベアリング	28	10×13
59	20005-419	丸座	13	
60	20048-21270	補助レール (L)	1	
61	20048-21280	補助レール (R)	1	
62	20013-41111	遊動ローラーシャフト	4	
63	20013-41112	遊動ローラー	8	
64	20013-31102	レール補助枠	2	
65	20013-41103	オビナット	4	M6
66	00980-41111	センサコード	1	L=950
67	20041-41420	コード接続マーク	1	
68	00980-41200	ブッシュマウントタイ	1	
69	20030-41400	コードクランプ	2	
70	20307-31270	センサーブラケット (A)	1	
71	20048-42390	センサー棒	1	
72	20307-41631	U板	1	
73	20033-41600	マイクロスイッチ	1	
74	00930-40033	引張バネ	1	
75	20050-31610	補助レールP (L)	1	
76	20050-31620	補助レールP (R)	1	
77	20041-41150	ベルト張り金具	2	
78	00931-40019	圧縮バネ	2	
79	20048-41350	ベルト従動シャフト	1	
80	20000-41130	φ46Vプーリー	2	
81	20112-31111	片寄り防止板	1	
82	20050-31480	把手	1	
83	20048-31770	脚ベース完結	2	
84	20048-31780	延長脚 完結	4	
85	20041-31200	高さ調節ボルト	4	M8×46
86	20048-42290	締付プレート	4	
87	20048-42132	脚ステー	4	
88	20000-42520	ノブボルト	12	M6×10
89	20051-31360	水受けシート	1	
90	20000-42490	フック (RV)	16	
91	01620-13206	ブラインドリベット (丸)	16	
92	20030-47125	排水ホース	1	
93	20060-31570	土受けシート	1	
94	20048-31520	土受けシート	1	
95	20041-31100	粗受けカゴ	1	
96	20042-41080	モミ受け吊り金具	2	
97	20138-31700	シャリン	2	
98	29222-31090	スタンド	1	
99	29222-41140	フレーム	1	
100	20050-41310	段付ネジ (II)	2	

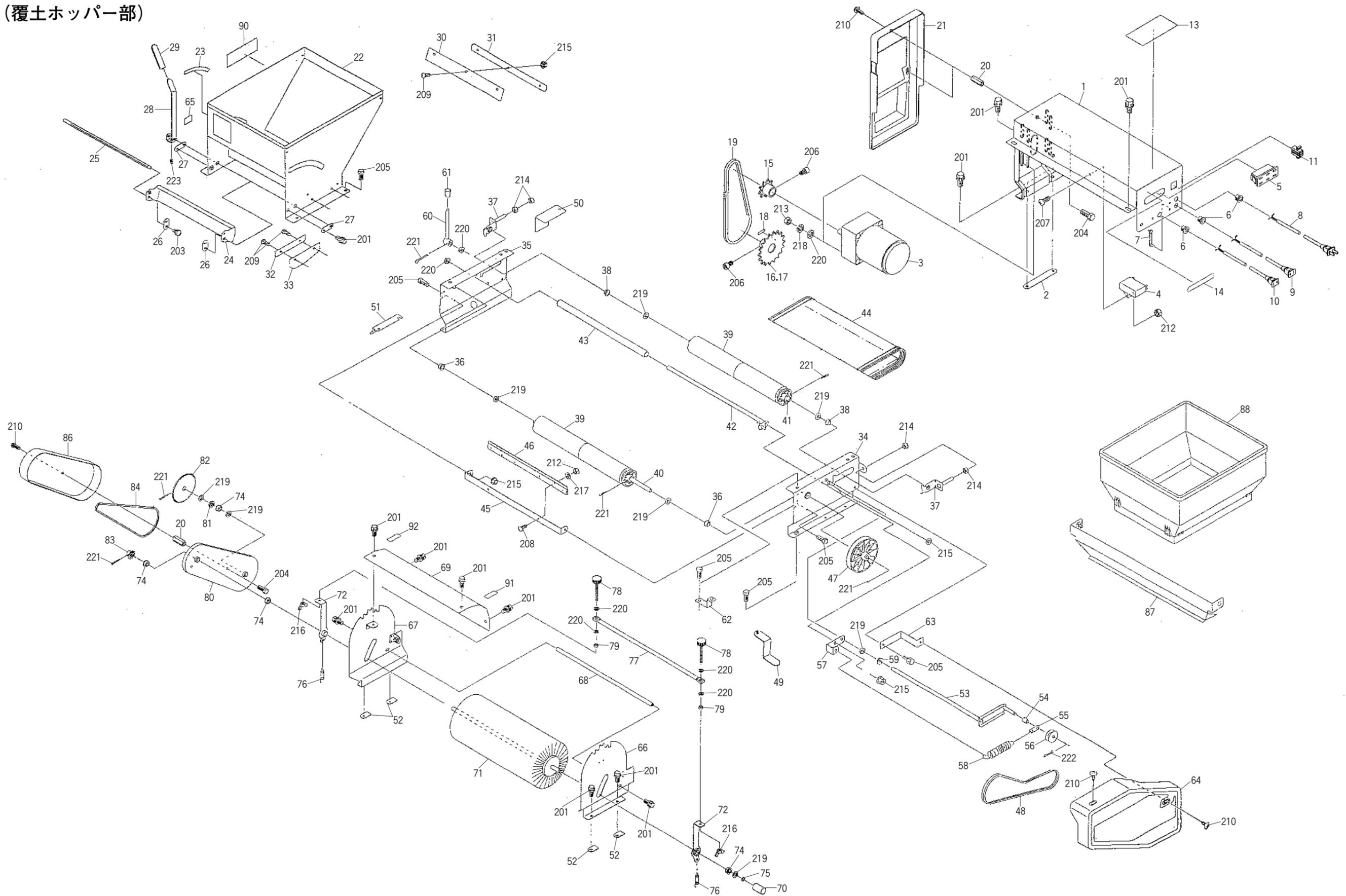
(床土ホッパー部)



(播種・灌水部)



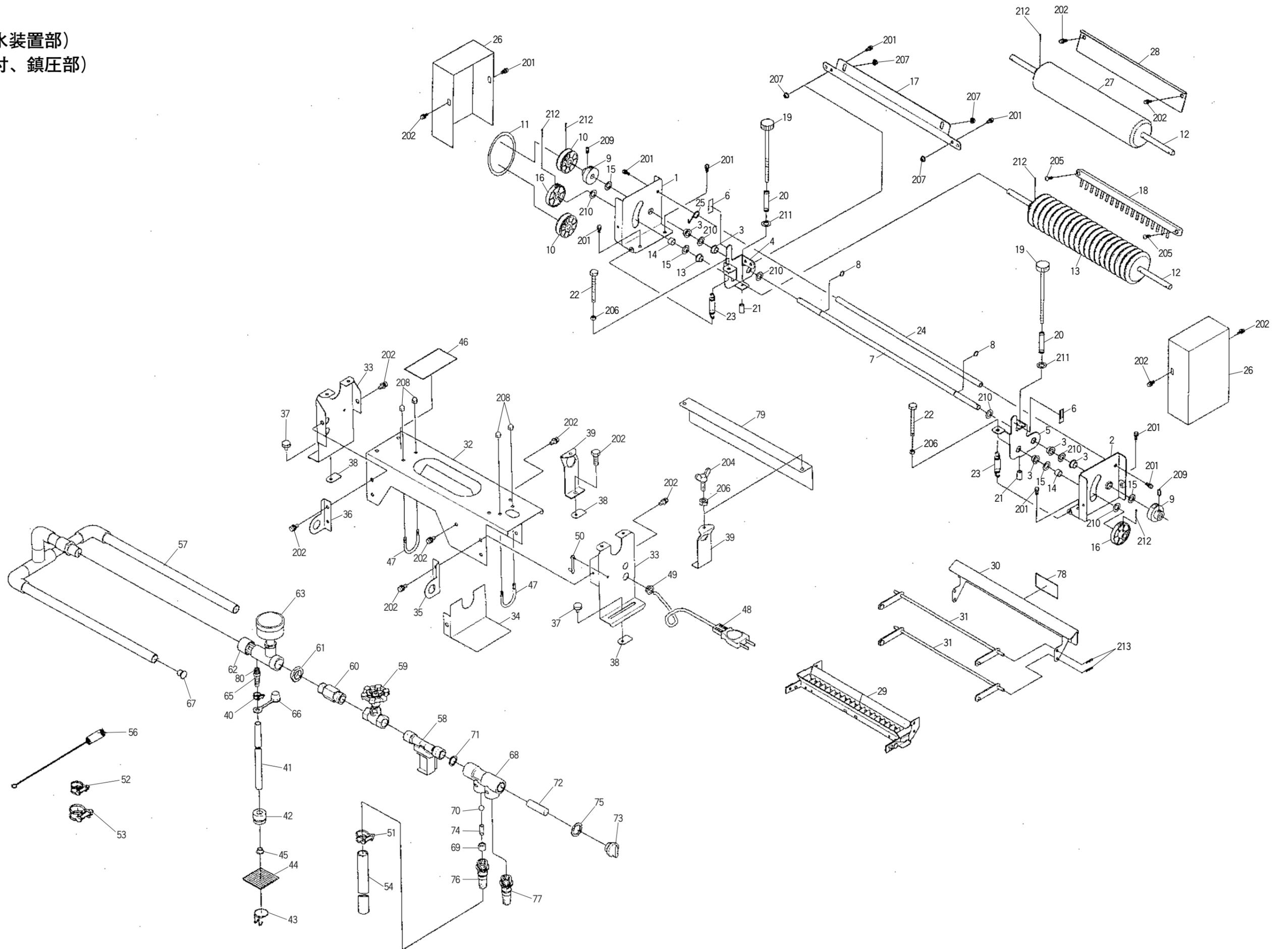
(覆土ホッパー部)



図No.	コード	名称	個数	備考
			THS-3217K	
1	20050-21241	モーターベース	1	
2	20033-41010	オビナット	1	
3	20050-31420	ギヤードモートル	1	
4	20113-41150	コンデンサ	1	
5	00980-31050	ACソケット	1	
6	20208-48411	コードブッシュ	3	
7	20033-41400	コードクランプ	3	
8	00980-42091	電源コード	1	
9	00980-42101	中間コードc	1	
10	00980-42141	中間コードf	1	
11	00980-42121	コネクタコードA	1	
12	00980-42080	中間コードb	1	
13	20050-41610	注意マーク	1	
14	20050-41790	接続マーク	1	
15	20208-43214	モータースプロケット (9T)	1	
16	20000-41720	スプロケット (16T)	1	軸径φ12(50HZ)
17	20000-41640	スプロケット (19T)	1	軸径φ12(60HZ)
18	20000-41770	表示ラベル (60HZ用)	1	
19	03003-41034	ローラーチェーン	1	#410.34L
20	20035-41160	支柱 (A)	2	L=30
21	20035-21043	モーターカバー (A)	1	Sグリーン
22	20048-21211	覆土ホッパー	1	
23	20048-41840	目盛マーク	1	
24	20048-31480	シャッター	1	
25	20048-41790	シャッター軸	1	
26	20048-41830	シャッタープレート	2	
27	20048-41800	シャッター軸板	2	
28	20048-41810	レバー	1	
29	20048-41820	レバーキャップ	1	
30	20133-41070	ゴムタレ (ウシロ)	1	
31	20126-41170	ゴム押え (ウシロ)	1	
32	20048-42060	ゴム押え (側板)	2	
33	20048-42070	タレゴム (側板)	2	
34	20048-31630	コンベアフレーム (左)	1	
35	20048-31640	コンベアフレーム (右)	1	
36	20208-41303	オイルレス軸受	2	#80.10×15
37	20013-41109	ベルト張り金具	2	
38	20005-411	オイルレスベアリゲ	4	
39	20048-21120	ベルトローラー	2	
40	20048-41620	駆動シャフト	1	φ10×443
41	20048-41630	従動シャフト	1	φ10×382
42	20048-41420	ベルト支え	1	
43	20133-41020	ローラー	1	
44	20048-21200	コンベアベルト (M)	1	
45	20133-31030	ブラシ取付金具	1	
46	20013-34204	ハケ完結	1	
47	20000-31020	φ100Vプーリー	1	
48	03511-00035	Vベルト	1	A-35
49	20048-42400	ベルト受け	1	
50	20035-41620	カバー (右)	1	

図No.	コード	名称	個数	備考
			THS-3217K	
51	20048-31310	切り欠きカバー	1	
52	20033-41020	マワリ止ナット	16	M6
53	20033-31070	テンションアーム	1	
54	20033-41140	カラー	1	6×14
55	20030-45116	バネカケ板	1	
56	20000-41310	テンションプーリー	1	
57	20035-41260	バネカケ	1	
58	26901-42006	レバーバネ	1	
59	20005-419	丸座	1	
60	20030-45115	レバー	1	
61	20030-44123	ニギリ	1	
62	20035-41030	カバー取付金具 (A)	1	
63	20035-41180	カバー取付金具 (C)	1	
64	20035-21022	カバー (フクド)	1	グリーン
65	20030-45117	クラッチ断続マーク	1	
66	20048-31831	回転ブラシスタンドL	2	
67	20048-31841	回転ブラシスタンドR	2	
68	20048-42200	ストッパーシャフト (N)	2	
69	20048-42310	回転ブラシカバー	2	
70	20048-42420	シャフトカバー (20)	2	
71	20048-31820	回転ブラシ (140)	2	
72	20048-42331	ブラシロッド (駆動側)	2	
73				
74	20000-41320	オイルレスベアリゲ	8	10×13
75	02100-01010	C型止め輪	2	軸用10
76	20050-41450	引張バネ	4	
77	20048-42320	調節バー	2	
78	20050-41320	調節ネジ	6	
79	20133-41220	ロックナット	2	M6
80	20048-31620	ブラシアーム (R)	2	
81	20208-42303	スペーサ	2	
82	20035-41020	スプロケット (42T)	2	
83	20035-41010	スプロケット (11T)	2	
84	03003-25102	ローラーチェーン	2	
85				
86	20035-31111	チェンカバー	2	
87	20048-31650	土反射板 (フクド)	1	
88	20059-21031	補助ホッパー (F)	1	
89	20000-42560	化粧ナット	4	M6
90	20060-31581	ネームプレート	2	
91	20048-42350	カキトリマーク (L)	1	
92	20048-42360	カキトリマーク (R)	1	
93				
94				
95				
96				
97				
98				
99				
100				

(灌水装置部)
(溝付、鎮圧部)



実り豊かな明日をひらく

株式会社 **スズテック**

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地44-3
代 表 / TEL.028(664)1111 FAX.028(662)5592
URL <http://www.suzutec.co.jp>